

令和8年度 1年 年間指導・評価計画

学年の重点項目		中学生としての自覚を深め、自立の精神を重んじ、基本的な生活習慣を身につけ、自己の向上を努められる機会にする。			
月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動 などの関連
4月	1 ともだち 「高め合う友情の尊さ」 【B 友情、信頼】	1	教材から想起される様々な友達の様や、友達との関係から得られることについて分かち合うことを通して、友達がいることよきについて考えを深め、高め合える人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「友達」に対するイメージや友達がいることよき、友達との関係から得られることなどについて、他の人の意見にふれながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「友達」という存在に対するイメージを描いたり、今後、友達とどのように接していくべきかを考えたりする際に、具体的な学校生活の場面を想起しながら考えている。	美術、特別活動
	2 おはよう 「心と形」 【B 礼儀】	1	挨拶の意味を考えることを通して、礼儀の意義を理解し、相手を尊重する気持ちをもって、時と場に応じた適切な言動をとうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 挨拶を単なる言葉と捉えず、形にこめられた価値や、相手を思う心を、日常の様々なことから考えている。 【自分ごととして考える】 挨拶について自分なりに考え、礼儀の大切さに気づき、これからとるべき態度について、自分自身との関わりの中で考えを深めている。	技術・家庭、特別活動
5月	3 「どうせ無理」をなくしたい 「夢や目標を諦めない」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	「どうせ無理」と言われた夢を実現させた植松努さんの生き方を学ぶことを通して、	【多面的・多角的に考える】 より高い目標をもってその達成をみざすことの大切さについて、植松さんの生き方や心情を理解しながら他の人と意見を交流し、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 夢や目標を達成するためには、諦めない心が大切であることを植松さんの生き方から学び、希望と勇気をもってやり遂げようとする意欲を高めている。	特別活動
	4 二人の言い分 「相手の立場に立って」 【B 相互理解、寛容】	1	いじめの定義や法について理解し、いじめを生まないためのトラブルの解決方法について話し合うことを通して、相互理解の大切さに気づき、相手の立場に立って考え行動しようとする判断力を養う。	【多面的・多角的に考える】 ハルトとリョウマそれぞれの立場に立ち、どうすればこのトラブルを回避できたかを考えることで、捉え方や感じ方は人によって違うことに気づき、相手の立場に立った言動をとうとする意欲を高めている。 【自分ごととして考える】 いじめを誰にでも起こりうる問題として捉え、いじめを生まないために必要な、互いを理解し寛容に受け止めようとする姿勢の大切さについて考えを深めている。	社会、保健体育、特別活動
	5 あなたならどうしますか 「いじめをなくすために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	中学校生活で起こりそうな二つの問題場面から、いじめをなくすために大切なことについて考えることを通して、正義を重んじ、誰に対しても公正に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 いじめをなくすための行動や、その際に大切にすべきことについて、正人や葉月の立場を自分に置きかえたり、被害者の気持ちを想像したりしながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のないよりよい社会の実現のために、自分なりにできることを考え出し、大切にすべき心情や態度について、考えを深めている。	特別活動
6月	6 いのちを考える 「生命の重さ」 【D 生命の尊さ】	1	他の生命との関係性の側面から、生命の尊さについて考えることを通して、生命の価値について考えを深め、生きとし生けるものの生命を尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 自他の生命を大切にすることについて、多様な価値観を受け止めながら、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の身のまわりの生き物の生命について改めて考え、様々な意見を受け入れながら、生命の尊さについて考えを深め、支え合い生かされていることへの感謝の思いを深めている。	理科、技術・家庭、総合的な学習
	7 自分で決める 「自由と責任」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	部活をやめようか迷う陽香里へのアドバイスについて、話し合いを通して考え、一つの判断には責任が伴うことに気づき、自分の行動に責任をもとうとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 自らを律し自らの行為の結果に責任をもつために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 自分の意志に基づく判断によって生じた義務を、忠実に果たすために必要なことについて、自らの経験や今後の生活と重ねて考えている。	保健体育、技術・家庭
7月	8 ごめんね、おばあちゃん 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉えることを通して、家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母に対する敬愛の念を深めようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 家族の一員としての自覚をもち、家族の中での自分の役割について他の人と意見を交流しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情の変化を共感的に捉え、家族の一員として大切にすべきことについて自らの経験と重ねて考え、父母や祖父母に対する敬愛の念を深めている。	社会、技術・家庭
	9 難民とともに～緒方貞子～ 「世界の人々のために」 【C 国際理解、国際貢献】	1	緒方貞子さんの決断や言葉について話し合うことを通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に貢献することについて考え、その実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 国際的視野に立って難民の現状や世界的情勢に目を向け、世界の平和を望み、自分にはどのようなことができるか、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 緒方さんが大切にしたい思いを共感的に捉えながら、緒方さんが私たちに伝えたいことは何かを考えることを通して、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする思いを深めている。	社会
	10 ヤクーバとライオン 「気高く生きようとする心」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤクーバが葛藤の末、良心に従って選んだ道をその後どう思うか深く考えることを通して、真の勇気を誇りに思い、気高く生きようとする道徳的判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 「勇気」とは「怖がらずに相手を倒すこと」という一面の捉えから、「今は他から理解されなくても、自分に恥じない行動をとる気高く精神」と見方を広げ、価値の本質、よりよく生きることについて深く考えている。 【自分ごととして考える】 ヤクーバの立場だったらどう判断するかを考え、これまでに自分の弱さに流されたことや自分の納得する道を選択した経験を振り返りながら、これからの生き方に思いをめぐらせている。	社会
9月	11 裏庭のできごと 「誠実な生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分の失敗を正直に報告できなかった健二の葛藤について考えることを通して、誠実に行動することで得られることに気づき、責任ある行動をとうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 誠実に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、3人の登場人物の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 誠実に生きるために大事にすべきことについて、健二の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	
	12 ルールとマナー 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公徳心】	1	ルールとマナーについて、多面的・多角的に捉え考えることを通して、インターネット上のコミュニティにおいても法やきまりにより秩序が保たれていることを理解し、自他の権利を尊重しながら、社会の秩序と規律を高めていこうとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 投稿の問題点を「ルール」「マナー」の視点や様々な立場から考えることで、ルールとマナーの多面性や必要性について、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 投稿の問題点を探り出し、自らの経験と重ねながら、自他の権利を大切にしつつ社会の秩序と規律を高めていくことについて考えを深めている。	社会、技術・家庭、特別活動
	13 一日前に戻れるとしたら 「安全への配慮」 【A 節度、節制】	1	教材と体験をもとに、危険を回避するために必要なことについて考え、安全への配慮としてすべきことについて理解を深め、望ましい生活習慣を身につけようとする判断力を育てる。	【多面的・多角的に考える】 安全に配慮して生活するために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 身近な危険を振り返りながら、安全に配慮するというプロセスの中にある価値について、自らの経験や今後と重ねて考えている。	理科、保健体育、総合的な学習
10月	14 オリンピックの士俵をみざして 「自分らしく生きる」 【A 向上心、個性の伸長】	1	今日和さんの生き方から、好きなことを続けるために大切なことについて話し合うことを通して、自分の個性やよきについて考えを深め、向上していこうとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 好きなことを続けるために前向きに道を切りひらく今さんの言葉や生き方から、自分のよきを伸ばし夢に近づくために大切なことについて多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 今さんの言葉や生き方を通して、多様な生き方・考え方があることに気づき、自分の個性を伸ばし自分らしく生きていくためにどうしようと思うか考えを深めている。	保健体育
	15 けやき中を誇りに 「学校に誇りをもつ」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	伝統の合唱コンクールに臨む姿勢を考えさせることを通して、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに集団生活の充実にも努めようとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 学校生活を充実したものにするために必要なことについて、登場人物の心情を理解しながら様々な立場に立ち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 先輩たちの伝統を受け継ぎ、クラスや学校の一員としての自覚をもって協力し合うことの大切さについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動
	16 不自然な独り言 「思いやりの心」 【B 思いやり、感謝】	1	目の不自由な人と出会った時の「僕」の行動について考えることを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとうとする心情を育てる。	【多面的・多角的に考える】 思いやりの気持ちもち伝えようとする大切さについて、「僕」の心情や、自身の考え、他の人の考えを照らし合わせながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 親切をされる人の立場に思いをさせ、「思いやり」の気持ちを伝えるときに大切にしたいことについて、自分なりに考えを深めている。	保健体育、総合的な学習

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動 などの関連
10月 ④	17 ショートパンツ初体験 in アメリカ 「個性を表現すること、受け入れること」 【B 相互理解、寛容】	1	今までの自己を脱却し強く生きようとする「私」の姿を通して、いろいろなもの の 見 方 や 考 え 方 が あ る こ と に 気 づ き、 そ れ ぞ れ の 個 性 や 立 場 を 尊 重 し、 寛 容 の 心 を も っ て 謙 虚 に 他 に 学 ば う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 「個性を表現する側」、「個性を受け入れる側」など様々な視点から、心の壁を作らないようにするためにできることについて考えている。 【自分ごととして考える】 個性や立場を尊重すること、いろいろなもの見方や考え方があることについて、「私」の経験と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	社会、総合的な学習
11月 ④	18 「ちがいがい」について考えよう 「尊重されるべきちがいがい、あつてはならないちがいがい」 【C 公正、公平、社会正義】	1	個人や文化の多様性として尊重されるべきちがいがい、公正、公平な社会の実現 の た め に あ つ て は な ら な い ち が い の 線 引 き を 考 え る こ と を 通 し て、 差 別 や 偏 見 の な い、 個 人 や 文 化 の 多 様 性 を 尊 重 す る 社 会 を つ く ろ う と す る 道 徳 的 判 断 力 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 「あつてよいちがいがい」と「あつてはならないちがいがい」を判断する際、本当に幸福な社会をつくるために、みんなにとってどうか、今だけでなく未来はどうか、立場や時を変えて考えている。 【自分ごととして考える】 様々な「ちがいがい」について、思いこみにとらわれることなく、自分の家庭や所属する集団を振り返ったり、自分がこれからできる行動に思いをめぐらせたりしながら、考えを深めている。	社会
11月 ④	19 選ぶということ 「学校や社会の一員として」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「自分たちの代表を選ぶ」ことの意味について考えることを通して、社会参画の 意 識 を 高 め、 学 校 や 社 会 を よ り よ く す る た め に 主 体 的 に 関 わ っ て い こ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 候補者の演説をもとに様々な選が基準について話し合い、選ぶということについて多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の選択や投票行動が及ぼす影響について考え、積極的に社会に関わろうとする意欲を高めている。	社会、特別活動
12月 ③	20 全ての人に安心、安全な水を 「新しいものをつくり出す」 【A 真理の探究、創造】	1	水質浄化剤を発明した小田兼利さんの生き方を通して、真理を探究し続けること の 大 切 さ や そ れ を 支 え る 思 い に つ い て 考 え、 工 夫 し て 新 し い も の を 創 造 し て い こ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 小田さんの「誰かのために何かをしたい」という思いや、想像力をはたらかせながら探究し続ける姿を通して、新しいものを創造するために必要なことは何か、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 真理を探究し続けることの大切さや工夫して新しいものを創造していこうとする思いについて、困難に負けず研究を続けた小田さんの姿と自らの経験を重ねながら、考えを深めている。	社会、理科、保健体育
12月 ③	21 レイ之助が望んだこと 「かけがえない命」 【D 生命の尊さ】	1	愛犬の治療をする道を選んだ飼い主の、「自分の判断はどうだったのか」という 葛 藤 を 通 し て、 生 命 に つ い て 多 面 的・ 多 角 的 に 考 え、 か け が え な い 命 を 尊 重 し よ う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にすることはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、様々な側面から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 レイ之助とともに生きる家族としての立場で、レイ之助にとっての幸せはなんだったのかを考え、飼い主の責任として何を優先させようと思うか、自分なりの考えを深めている。	特別活動
12月 ③	22 幸せな仕事って 「働くことの意味」 【C 勤労】	1	職業聞き取り学習の話から、職業選択のあり方や働くことの意義を考えること を 通 し て、 自 分 の 仕 事 に 誠 実 に 取 組 む こ と の す ば ら し さ に 気 づ き、 	【多面的・多角的に考える】 自己実現、社会の一員としての役割、信頼や喜びを得るなどの様々な面から、働くことの意義について考えている。 【自分ごととして考える】 光太郎の気持ちを共感的に捉え、自分自身の進路や、将来の職業に対する不安や葛藤に対して、広い意見を受け入れて考えている。	社会、特別活動、総合的な学習
12月 ③	23 富士山を守っていくために 「豊かな自然を守る」 【D 自然愛護】	1	富士山が世界文化遺産に登録された経緯を知り、人間と自然との関わりにつ い て 考 え、 自 然 を 守 る た め に 自 分 に で き る こ と を 探 し て い こ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 自己実現、社会の一員としての役割、信頼や喜びを得るなどの様々な面から、働くことの意義について考えている。 【自分ごととして考える】 光太郎の気持ちを共感的に捉え、自分自身の進路や、将来の職業に対する不安や葛藤に対して、広い意見を受け入れて考えている。	理科、社会、総合的な学習
1月 ③	24 伝えたい味 「郷土文化の継承」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	すまじゅうを伝え残そうとする「私」の思いを考えることを通して、先人や地域と 伝 統 文 化 の つ な が り に 気 づ き、 郷 土 の 発 展 の た め に 自 分 が 寄 与 し よ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統文化を守ることの大切さについて、「私」の感じ方や考え方を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 地域社会の伝統文化を守っていくために必要なことについて、自らの生活や身のまわりの人たちのつながりと重ねて考えている。	技術・家庭、総合的な学習
1月 ③	25 雅司のとまどい 「友達のよいところ」 【B 友情、信頼】	1	互いのよさを認め合う友情について話し合うことを通して、友達関係を築くために 大 切 な こ と を 考 え、 互 い に 励 まし 合 い、 高 め 合 お う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、自分の周りの友達関係を想起したりして、互いのよさを認め合う友情を築くために大切なことについて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 互いの個性を肯定的に捉え、よさとして伝え合う活動を通して、互いを信頼し励まし合うことのよさを実感し、友情を築いていこうとする意欲を高めている。	特別活動
1月 ③	26 それは個性 「自分の個性に自信をもつために」 【A 向上心、個性の伸長】	1	ミズナと友達の会話をもとに、個性とは何かを考えることを通して、人との違いを 前 向 き に 捉 え、 自 信 を も っ て 生 き て い こ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 ミズナの「愛」を「すごい」「新鮮みがあってサイコー」と考えるクラスメイトの視点から、自他の個性を多面的・多角的に捉え、個性を伸ばすことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ミズナのクラスメイトの前向きな考え方に共感し、自他の個性をどのように捉え伸ばしていくか、肯定的に考えようとする意欲を高めている。	保健体育、特別活動
2月 ④	27 よく生きること、よく死ぬこと 「限りある命を生きる」 【D 生命の尊さ】	1	生きたいと願い、死ぬことへの恐怖や悔しさを抱えながらも死と向き合い、人生を 全 う し た ヨ ッ ち ゃ ん の 姿 か ら、 よ く 生 き る と は ど う い う こ と か を 考 え、 周 圍 へ の 感 謝 を も っ て か け が え な い 生 命 を 大 切 に 生 き て い こ う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 生命には限りがあることを念頭に置きながら「生まれてきたこと」「生きること」「死ぬこと」が自分にとってどのようなものなのか、「よく生きるため」「よく死ぬため」には何が必要なのか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 周囲への感謝をもって生きることの大切さやかけがえない生命を大切に生きていこうとする態度について、ヨッチャんの姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	保健体育
2月 ④	28 私に宇宙のプレゼント 「生きることの喜び」 【D よりよく生きる喜び】	1	病と闘う「私」の姿について考えることを通して、弱さを乗り越え、強く生きよう と す る 気 持 ち の 大 切 さ を 理 解 し、 人 間 と し て 生 き る こ と に 喜 び を 見 い だ そ う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 「私」の「強く生きたい」「生きることがつらい」という葛藤を捉えながら、「私」、家族、臓器提供者などの多様な視点から、強く生きるために必要なことや生きる喜びについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 弱さを乗り越えること、強く生きようとする、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心について、病と闘う「私」の姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	理科
3月 ②	29 “庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生 涯～ 【日本の伝統と文化の継承】 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	上方落語の復活に尽くした桂米朝さんの生き方から、伝統や文化を継承するた め に 必 要 な こ と に つ い て 考 え、 日 本 の よ さ を 感 じ そ の 発 展 に 寄 与 し よ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 米朝さんの努力を理解し、伝統や文化を継承することの大切さやその時に必要なことについて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 日本のよさを感じ伝えるために、自分がその担い手としてできることを、身近なことから考えている。	国語、社会
3月 ②	30 オーロラの向こうに 「人の力の及ばないもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然の前で自らの有限性を痛感する「僕」の心境について思いをはせることを通 し て、 人 間 の 力 を 超 え た も の の 向 き 合 い 方 に 気 づ き、 自 然 を 畏 れ、 敬 お う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 人間の力を超えた自然の厳しさと美しさについて、他の人の意見を理解しながら、より具体的に考えている。 【自分ごととして考える】 自然と謙虚に向き合い、その中で自らの生活をより豊かなものにするために必要な姿勢について、自らの経験と重ねて考えている。	理科、特別活動
3月 ②	31 古びた目覚まし時計 「時間の価値」 【A 節度、節制】	1	時間の大切さに対する「僕」の気づきを共感的に捉えることを通して、自律的な 生 活 を 送 る こ と の よ さ や そ の た め に 必 要 な こ と は 何 か を 考 え、 望 ま し い 生 活 習 慣 を 身 に つ け よ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 「心のベル」をもつことの大切さについて、他の人の考えと照らし合わせながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 父から「僕」が聞いた話や「僕」が感じ取ったことを共感的に捉え、自らの生活習慣と重ねながら、望ましい生活について深く考えている。	保健体育、技術・家庭
3月 ②	32 「夢をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の復元にかけた 思い～ 「郷土に対する誇り」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	夢童由里子さんの名古屋城本丸御殿の復元にかけた思いを考えることを通し て、 先 人 へ の 感 謝 と 郷 土 に 対 す る 認 識 を 深 め、 郷 土 に 対 し て 誇 り や 愛 着 を も っ て 主 体 的 に 関 わ ろ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 夢童さんの、本丸御殿復元にかけた思いと行動について多様な視点をもって考えるとともに、それを支え、守ろうとする人々の心情を理解し、「夢をつなぐ」ことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 身近な地域や郷土のよさを再発見し、それを受け継ぎ発展させることの価値について、自らの体験や日常生活と重ねながら、未来に目を向けて深く考えている。	社会、美術
3月 ②	33 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つけたもの～ 「思いやりの尊さ」 【B 思いやり、感謝】	1	震災後の地域の人々による共助について考えることを通して、他者を思いやる 尊 さ と す ば ら し さ を 感 じ、 人 	【多面的・多角的に考える】 マンションの階段の近くに置かれた椅子にどんな名前をつけるか考えることを通して、この椅子がもつ様々な道徳的価値に気づき、他者を思いやる尊さやすばらしさについて思いを深めている。 【自分ごととして考える】 思いやりや感謝の心が人と人をつなぐ人を支えていることに気づき、そのようなことが身のまわりになく、自らの経験を振り返って考え、自分ごととして捉えている。	特別活動
3月 ②	34 もつたいない 「感謝の心をもつ」 【B 思いやり、感謝】	1	「もつたいない」ことについて考えることを通して、身近なものや今ある生活、周囲 か ら の 支 え の 「あ り が た さ」 に 気 づ き、 感 謝 の 気 持 ち を も っ て 毎 日 を 大 切 に 生 き よ う と す る 実 践 意 欲 と 態 度 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 「もつたいない」にこめられた様々な心を理解し、物的損失だけでなく、物にこめられた人の思いや時間などに対する感謝や敬愛の念について考えている。 【自分ごととして考える】 「もつたいない」ことを考えることを通してそれがあることの「ありがたさ」に気づき、感謝の心をもって生きようとする意欲を高めている。	技術・家庭、総合的な学習
3月 ②	35 僕の応援歌 「家族のきずな」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	嘉成さんに対して厳しく、粘り強く療育に励んだ有希子さんの思いや、その思い を 嘉 成 さ ん 自 身 が ど う 受 け 止 め て い る の か を 考 え る こ と を 通 し て、 家 族 の 一 員 と し て の 自 覚 を も ち、 充 実 し た 家 庭 生 活 を 営 も う と す る 心 情 を 育 て る。	【多面的・多角的に考える】 愛情を注いだ有希子さんの気持ちを捉え、その愛情を受け取った嘉成さんの心情に思いをめぐらせながら、豊かな家庭生活に必要な諸要素について、様々な視点から考えている。 【自分ごととして考える】 嘉成さんと有希子さんのつながりを分析的に捉え、自分と自分の家族との関係を重ね合わせることで、自分が受けた恩や、家庭生活において大切にすべき心情や態度について考えを深めている。	美術、技術・家庭